



# ご存知ですか？

# 「家族物語」は、女性スタッフのみで お手伝いをいたします。

ご葬儀を終えられたご家族にお話をお伺い致しました

Interview vol. 10

## 市橋 三重子 様



### 家族みんなで最期を送る

小さな孫が騒いでいる声を聞きながら、自宅で病いと闘っていた夫。

病気になってから、いつかは亡くなるということはわかっ  
てはいましたが、早すぎる死に悲しみは絶えませんでした。娘  
夫婦に助けをもらいながら、家から一番近いいわさきさんに  
主人の葬儀をお願いすることにしました。



※写真はイメージです。

### 家族だけのお別れ

新型コロナウイルス感染予防のため、家族のみの参列でしたが、沢山の思い出の写真や主人愛用の物を祭壇の周りに飾り、アットホームな雰囲気です。私たちが家族にとっても主人にとっても良かったことだと思っています。

### 新型コロナウイルス感染の影響

主人が亡くなったのは、新型コロナウイルス感染が全国的に広まってきた時でした。

東北にいる主人の兄弟達は苦渋の選択で参列することを断念せざるを得ませんでした。兄弟であってもお別れが出来ない辛さはいかばかりかと・・・葬儀の際の祭壇などのアルバムを頂いたので、落ち着いたら見せてあげたいと思っています。

### 小さいところまで心配りを頂きました

初めての喪主を務めるにあたり心配なことばかりでしたが、今思ってみれば全てのスタッフが同性の女性であったため、些細なことまでも気軽に相談ができたことがなによりも安心しました。女性だから心配ということは感じる事がなく、きめ細やかな気遣いをしていただき全てをお任せすることができました。

Interviewer 清水 陽子



※写真はイメージです。